

令和4年度  
逗子海水浴場の運営に関する検討会報告書

令和5年1月

もくじ

I. はじめに	1
II. 運営検討会の活動	1
III. 報告	2
1. 利用者に関する報告	
2. 海の家に関する報告	
3. 来年度海水浴場開設に向けての報告	
4. 振興策の提案に係る報告	
IV. 実施状況・意見	6
1. 利用者に関する内容	6
(1) 全般	
(2) 条例等ルールを意図的に守らない利用者への対応	
(3) 条例等ルールを理解できない外国人への対応	
(4) ごみ対策	
(5) 喫煙対策	
(6) 防犯カメラの設置	
2. 海の家に関する内容	13
(1) 全般	
(2) 海の家営業時間	
(3) 海の家音楽・イベント	
(4) チェックリスト・イエローカード	
(5) 海岸組合によるマナーアップ警備員のパトロールへの同行・街中パトロール	
(6) 感染症対策	
3. 来年度海水浴場開設に向けて	17
(1) 開設の可否	
(2) 開設の期間	
4. 振興策の提案	18

## I. はじめに

「逗子海水浴場の運営に関する検討会」（以下「運営検討会」という。）は、平成 26 年 3 月 3 日に全部改正され、公布・施行された「安全で快適な逗子海水浴場の確保に関する条例」（以下「海水浴場条例」という。）及び「安全で快適な逗子海水浴場の確保に関する条例施行規則」（以下「海水浴場規則」という。）に基づき平成 27 年 3 月 19 日に設置された。本報告書は、運営検討会が令和 4 年度の逗子海水浴場事業者・利用者ルール（以下「海水浴場ルール」という。）に関する事、安全で快適なファミリービーチとしての振興に関する事及び海水浴場条例・海水浴場規則に関する事について、協議・検討を重ねたものを取りまとめ、市長に報告するものである。

## II. 運営検討会の活動

運営検討会は、海水浴場条例・海水浴場規則・海水浴場ルール（以下「条例等ルール」という。）及び安全で快適なファミリービーチとしての振興策について、検討・協議を重ねた。

令和 4 年 3 月には、海水浴場開設決定前ではあったものの、開設した場合の海水浴場ルール案の協議・検討を行った。また、新宿自治会から市へ提出された「逗子海水浴場開設と運用に関する要望」についての説明を受け、海岸周辺住民の意見も踏まえた議論がなされた。

その後、4 月 28 日に行われた検討会においては、3 月に引き続き、海水浴場ルール案の検討・協議を行った。また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大によって途中休場となった昨年度の反省を活かし、まん延状況に応じた対応についても検討・協議を行った。

期間中は「逗子らしい安全安心で快適な魅力ある海水浴場」を推進していくために、課題や目的を共有する合同パトロールを行うとともに、各メンバーは定期的に現状を確認した。

期間終了後は、今年度の逗子海水浴場の総括や来年度に向けた課題の整理、振興策等を議論し、「逗子海水浴場の運営に関する検討会報告書」（以下「報告書」という。）を作成した。

### 令和 4 年運営検討会開催一覧

回数	日 時	備 考
第 6 回	3 月 23 日（水） 14：30～16：30	令和 4 年度海水浴場開設へ向けた検討・協議等
第 7 回	4 月 28 日（木） 14：30～16：30	令和 4 年度海水浴場運営検討
第 8 回	10 月 17 日（月） 14：30～17：00	令和 4 年度海水浴場総括
第 9 回	11 月 29 日（火） 14：30～16：30	課題の整理・振興策の提案
第 10 回	12 月 27 日（火） 14：30～16：00	令和 4 年度報告書検討

### 令和 4 年合同パトロール実施一覧

実施日時	参加者
7 月 24 日（日） 18：00～19：00	48 名
8 月 21 日（日） 18：00～19：00	52 名

### Ⅲ. 報告

#### 1. 利用者に関する報告

##### (1) 全般

- ・日中は家族連れや学生グループが多く、穏やかなファミリービーチという印象であった。一方、夕方以降は客層の中心が若者や外国人となり、雰囲気に変化し、酔った人が増え、小競り合いもあるなど、子どもや家族連れが安心していられる状況ではなく、そういった来場者が街中を往来することは、近隣住民へも不安を与えている。マナーアップ警備員や外国人通訳アドバイザー、逗子海岸営業協同組合（以下「海岸組合」という。）、警察等関係者によるパトロール活動は、確実に海水浴場及び地域の安心・安全につながっているものの、現在の状況を踏まえると、夕方から夜間にかけての砂浜・街中のパトロール強化が必要である。
- ・米軍関係者が起こした無差別暴行事件は、非常に衝撃的で大きな不安となった。米軍に対しては、米軍関係者への条例等ルールへの周知徹底や節度ある行動を促す取り組みの強化を求めたい。また、管理者である市は、警察や海岸関係者との連携を密にし、海水浴場関連の110番通報やトラブルの情報収集に努め、その内容を検証し対策を講じるなど、より適切な管理をお願いしたい。
- ・終日、子どもや家族連れが安心して楽しめるファミリービーチを実現していくために、ターゲットとする主な利用者の明確化や海水浴場全体の有料化などの意見が挙げられた。有料化については、PR効果やブランド力向上などの効果がある一方で、誰もが出入りできる海岸で開設している海水浴場において、利用者を選別し、無料で楽しみたい人が場外に追いやられ、安全が危ぶまれることや、有料利用者の過度な要求が懸念されるなど、かえって子どもやファミリーを遠ざけてしまうのではないかと指摘もあった。そのため、拙速に結論を出すべきではなく、効果や課題を精査し、十分かつ慎重な検討・協議が求められる。

##### (2) 条例等ルールを意図的に守らない利用者への対応

- ・毎年明らかに、毎週のようにルールを意図的に守らない特定の利用者グループによって、海水浴場全体の風紀が乱されている。それら利用者の行為は周りの人のルール違反も助長しており、これらの者への対処は喫緊の課題である。粘り強く注意することに加えて、その日限りの対応だけでなく、開設期間を通して累積警告を与える、酒の持ち込みを禁止するなどのさらなる対策強化が求められる。
- ・一方、一部のルール違反者のために、海水浴場全体の利用者ルールが厳しくなりすぎることや、一部の人の排除につながることに對しては、慎重な意見もあったことを申し添える。

### (3) 条例等ルールを理解できない外国人への対応

- ・外国人来場者は年々増加しており、それに伴いトラブルも発生している。外国人来場者へのルールやマナーの理解促進は、海水浴場の風紀に直結するため、粘り強い周知活動が求められる。
- ・外国人通訳アドバイザーは効果的であったため、来年度以降も継続していく必要がある。

### (4) ごみ対策

- ・ごみゼロナビゲーション等のボランティア活動は効果的であったため、継続が望ましい。
- ・持続可能な運営のためにも、利用者から寄付を募るなどの取り組みの検討も必要である。

### (5) 喫煙対策

- ・紙巻きたばこを全面禁煙としたことで、路上喫煙や吸い殻のポイ捨てが大幅に増えた。注意するには限界があるため、紙巻きたばこの喫煙所を設ける等の対策が必要である。

### (6) 防犯カメラの設置

- ・ルール違反や犯罪抑止の面でも一定の効果があったと思われるため、継続が望ましい。

## 2. 海の家に関する報告

### (1) 全般

- ・営業状況についての質問もあり、子ども向けのサービスやイメージアップのための取り組みなどを提案する意見もあった。
- ・海の家の上屋利用については、近隣マンション住民のプライバシーに配慮して、よしず等で目隠しをするような対策を求めたい。
- ・営業にあたっては、条例等ルールの遵守はもちろん、本報告書にある意見も含めて従業員にも共有することを求めたい。

### (2) 海の家営業時間

- ・新型コロナウイルス感染症のまん延状況によっては 20 時閉店とすることを前提条件に、土日休日限定で閉店時間を 21 時としたいと提案があり、検討・協議を行った。近隣住民のアンケートを踏まえ、営業時間を変更すべきではない、閉店時間を早めてほしいという意見がある一方で、条例等ルールを遵守し、近隣の住環境を保持した上で試験的に 20 時以降も営業しても良いのではないかと意見もあった。閉店時間を 21 時とする場合には、砂浜及び街中のパトロール体制の構築やトラブルがあった際の停止条件、試験的運用から開始するなど、海水浴場全体の運営も踏まえ、来年度はルールを決定していく中で検討してもらいたい。

### (3) 海の家音楽・イベント

- ・海を家の BGM については、全体的に管理されていたという意見が多かったが、人が少なく周りが静かな時は音量を下げしてほしいとの意見もあった。BGM 音量については、ルールを遵守しているのであれば各海を家の自由で良いのではないかとの意見がある一方で、ルールを遵守していても周りの状況に応じて音量は配慮すべきとの意見もあったことから、対応が求められる。

### (4) チェックリスト・イエローカード

- ・今年度と同様に継続することが必要である。

### (5) 海岸組合によるマナーアップ警備員のパトロールへの同行・街中パトロール

- ・海を家の従業員によるパトロールは、利用者に近い立場であることから効果的だった。
- ・街中パトロールは周辺地域の安心につながっており、清掃活動も非常に効果的であるため、来年度以降も継続を求めたい。

### (6) 感染症対策

- ・今年度同様、新型コロナウイルス感染症のまん延状況に応じた対応を求めたい。

## 3. 来年度海水浴場開設に向けての報告

### (1) 開設の可否

- ・最終的な開設の可否については市が決定することを確認したうえで、来年度以降も感染症のまん延状況に対応できるよう、できる限りの想定をして準備することを求めたい。

### (2) 開設の期間

- ・期間の設定は、今年度と同様の考え方でよい。

## 4. 振興策の提案に係る報告

### (1) 子ども向けイベント

- ・子ども向けイベントは、ファミリービーチとなるためのきっかけづくりとなっており、継続されることが望ましい。

### (2) ブルーフラッグ

- ・ブルーフラッグについては、逗子の特徴をもっとアピールすることで、市民への理解促進を図り、まち全体を巻き込んだ取り組みにつなげていくと良いという意見があった。

### (3) その他

- ・シークレット花火については好評で、来年度以降も実施を望む意見もあった。
- ・一方、本検討会においては、現状を踏まえると、具体的な振興策よりも、ルールへの浸透や遵守してもらうための方策について重点的に検討すべきで、それによって今、逗子海水浴場に来てくれている人たちがもっと気持ち良く過ごしてもらえるようになれば、結果としてそれが一番の振興策となるのではないかと、この意見もあった。
- ・海水浴場全体の振興策を検討するに当たっては、全般の報告でも触れたが、子どもや家族連れが終日安心して楽しむことができるファミリービーチに近づけていくためには、どのような人たちに海水浴場に来てほしいのかを明確にするなどの議論が必要と考える。その上で、コンセプトやターゲットに合わせた具体的な方策やサービスなどを検討・協議をすべきとの意見もあった。

これらを踏まえて、来年度以降、各関係者は取り組んでいただきたい。

#### IV. 実施状況・意見

##### 1. 利用者に関する内容

###### <実施状況>

- ・利用者に関するルールについては、平成 26 年度から条例禁止事項としている「砂浜でのバーベキュー」、「砂浜での飲酒」、「他者を畏怖させる入れ墨・タトゥーの露出」、「スピーカー等を使用して、音又は音声を流すこと」は今年度も継続された。
- ・また、昨年度に引き続き「逗子海水浴場における新型コロナウイルス感染症の感染防止に関するルール」（以下「感染防止ルール」という。）を定め、海水浴場内での身体的距離の確保等を盛り込んだが、マスク着用については熱中症の危険も考慮した運用がされた。
- ・例年課題となっている「条例等ルールを意図的に守らない利用者」や「条例等ルールを理解できない外国人」については、昨年度から継続して警察と連携した退場勧告や外国人通訳アドバイザーの配置をして対応された。
- ・昨年度検証が不十分となった紙巻きたばこの全面禁煙については、今年度は周知活動を強化して試行的な取り組みが継続された。
- ・海水浴場内への犬の持ち込みについては、昨年出された「状況に応じてルールの緩和を求める意見」を受けて、規制時間前後の運用を柔軟に対応された。

###### <意見>

###### (1) 全般

- 個人的には今年の海は良かったと思っている。外国人通訳アドバイザーや警備員に加え、様々な新たな取り組みが増え、明らかに良くなっていると思っている。ただ、マナーを守らない来場者がこの良い面を打ち消してしまっている印象。
- 今年は治安が悪かった。市の報告書の書き方としては良かったという内容になっているが、入れ墨や柄の悪い人も多かったし、毎週末警察が来ていて、救急も多かった。誰のせいでもないが事実として柄が悪い人が増えているということは書くべき。
- 全体としてはよかったと思う。入れ墨、酔っ払いもひどく、最初の一週間はどうなるかと思ったが、警察も多く来るようになって、期間中ずっと見て歩いてくれた。
- 全体としては平和なファミリービーチになっていると思っている。
- 午前中がメインで海岸によく行ったが、その時間帯はほとんどが子連れや若者グループで海水浴場全体の客層も良い。
- 子どもたちも多かった。
- 子どもが嫌な思いをしたというような報告はなかった。市で色々な企画をしてくれて良かったとまわりの人は言っている。個人的には、暑くてあまり外には出なかったが、良かったのではないかとと思っている。
- 夕方以降のビーチは悪い部分もあったが、全体としては日中は良くなっているのではないかと。

- 特定のルールを守らない人がいなくなれば全体が良くなる。皆が遠慮して言わないだけだと思う。
- マナーアップ警備の取り組み自体は良かった。それがなければよりコントロールできなかったと思う。昨年一昨年の方が静かで良かったと個人的には思っている。
- 来てほしくないような海水浴客が多かった。駐輪場のラミネートがはがされていたり、選挙ポスターも捨てられていたり、市の立て看板も壊されたりしていた。グランツオーベル（近隣マンション）の中に落書きもあった。今まではこういったことはなかったと感じている。
- 東と西でトラブルの件数やイメージ等、どういった違いがあるのか検証することを提案したい。
- 警察官が制服で歩いてくれたので安心できた。
- シンボルロードの夜の警備は安心できた。
- 暗くなってきたときにシンボルロードを警察がパトカーでパトロールしてくれていたのは非常に良かった。
- （上記意見について）何としても継続してほしい。警察がいると誰もが安心できるため継続してほしい。
- 開設者として市による街中警備も必要であると思っており、その前提で予算要求もしている。その上でも、やはり警察の力は大きかったと感じている。逗子海岸の場合、すぐ近くが普通の生活道路なので、警備等の強化はしていきたいと考えている。
- 米兵の暴行事件について、大ケガをした女性の他にも4～5人被害にあっている。また、シンボルロードでの泥酔者も見ている。土日は特に警察や救急車をよく見た。
- シンボルロードでの暴行事件後は警察の巡回も増え、海水浴客も落ち着いたと思う。
- シンボルロードに警備員を配置し、警察にもパトカーを配備いただき、強化できていたのではないと思う。防犯カメラも抑止力となった。事件後は小競り合いなどはあったが、大きな事件等がなかったのは様々な団体が良くしていこうという思いがあり、ご協力があったからと感じている。
- 今年の夏は米軍の暴行事件が大きなデメリットだったと思う。海岸組合の方が大ケガをして、逃げられたというのは最大の課題。今までも船が横須賀に入ってきた時は事件が起きていた。検討会で意見を出し合って改善すべき。それ以外にも海岸での小競り合いなどもいくつか見られたのも、今後の課題としてほしい。
- 米軍に関しては本格的に来ないでほしいと考えている。暴行事件に関して未だに司令官も謝りに来ていない。池子米軍住宅の人は良いと思うが、横須賀の米兵の質が悪いことが今回明らかになったわけなので、そこを排除することを行政としてアピールしてほしい。そういう対処をしなければ、米軍も変わらない。逗子は騒げる海岸であると米兵たちに思われている。犯罪を犯す人間がいる限りは徹底すべき。特定の外国人グループについても来てほしくないから、排除する方向で考えるべき。現実的に排除することが難

- しかつたとしても、姿勢をアピールしないといけない。犯罪を犯す、ルールを守らないというような人間がいるのであれば排除しないと地域の安全は守れない。
- 米軍関係者が起こしたと見られるこの事件の経過報告については、市から市民へ正式に情報共有してもらいたい。市民が何となくの情報で話しているような状況である。
  - 殺人事件が起きたことをきっかけに作った日本一厳しい条例が徐々に緩和され、ファミリービーチに向かっていくような流れになっている。これを壊さないためにも、極論だが、外国人排除や市民へのインセンティブなどの対処も含めて考えていくべきではないのか。やはり、私も孫の子どもたちには夕方以降に海に行くことをやめさせた。一方、朝早い時間帯の海はすばらしかった。外国人を入れないという前提を立てたうえで今後の海岸の在り方、運営を考えてもいいのではないか。
  - これは何度も言っていることだが、海水浴場は海を楽しむ場所であって、酒を飲むところではない。飲みたい人は海の家や街の居酒屋で飲めば良い。17 時までは全体で海を楽しむ場所ときっちり決める。17 時以降はドレスアップしてもらってお店の中で楽しんでもらう。海の家で飲んだ人が海で溺れたらどうするのかという問題はあるが、そういう決まりがあっても良い。日本一厳しい条例は数年前から言われていて誰も異論はないと思う。また、土日は逗子市民限定の海水浴場にすれば外国人も規制できるのではないか。
  - 収益をあげるために市外の人からはお金を取って、市民は無料にすべき。未成年の飲酒事案もあることが問題である。
  - 海上に関しては、ライフセーバー等の協力のおかげで例年と比べると水上オートバイのマナーが良く、静かで良かった。
  - 海上のマナー違反はほぼ無くなった。だが、ボートで来た人が海の家で飲酒しているというケースもある。海保がいなくなるまで水上オートバイの操縦者が帰らないということもあった。海の家はこれらの人々にお酒の提供をしないように徹底してほしい。
  - 漂着したヨットの件について、前から県に対応をお願いしていたのに漂着するまで動いていただけなかったのはどうなのか。もう一艇停泊しているヨットの対応も早急をお願いしたい。
  - 検討会で、海を家の客が起こした刑事事件に関する記事が資料として配付されたと思うが、米軍のことを二項目書くのであれば、一つはこの事件のことを書いてほしい。外国人や米軍だからということではなく、客層が悪くなったということを書いてほしい。
  - この記事のことについては、調査してもどこの家で起きた事件なのか特定できていない。組合としても全く分からないし、市も警備員も分かっていないと聞いている。警察に聞いても教えてもらえない。そのため、どうやって新聞記事になったのかも不明である。記事の根拠がどこにあって、本当に殴られたのかも分からないため、むしろ教えてほしい状態である。

- 組合も市も知らないというのも大きな問題である。ガバナンスがはっきりしていない。事実であるのならば把握していないことは問題であり、記事が誤りならばそれも問題である。
- 管理者に報告もなく、把握できてないというのも大問題。
- どういったニュアンスで記事を書いているのかも分からない。アルバイトが殴られて怪我をしたら理事の耳に入らないわけがない。誤報だと思っている。検討会の場でそこをはっきりさせるといよりも市で調べてほしい。
- 台風の日だったのに客は来ていたのか。
- 客は数えるほどで、ほとんどいなかった。
- 事実関係については、市と組合で調査してもらおうとして、検討会報告書ではルールを守らない外国人だけでなく、そういった客層についても言及すべきか。
- 警察関連の件数が公開されてないのがおかしい。警察は市に対して情報を開示すべき。救急の件数は載っているのに、報告書にそういった警察関連のデータが載ってこないのが問題。そのデータがないと実態が隠れてしまう。
- 未成年が飲酒をしていることは警察も把握している。そういうことがこっちに情報として入ってこないことは良くない。
- 警察に確認したが、個別の事案については教えることはできないとのことだった。
- 警察側のルールも分かるが、検討会においても知ることができないというのは良くないと思うため、情報を提供することの協力を市から警察へお願いしてほしい。
- 少なくとも件数だけでも教えてほしい。例年と比べて、増加したのか減少したのかも分からない。

## (2) 条例等ルールを意図的に守らない利用者への対応

- マナーアップについては、市職員や警備員が手馴れてきていて、目を盗んでルールを違反する者へ毅然とした態度で対応し、時間差で注意したり、注意後すぐに戻ってチェックしたりするなど、工夫していたとは思いますが、解決できていない点もあるので今後も頑張りたい。あとは、利用者同士の小競り合いが目立っていた。地元の皆がルールを守って大切にしているのに利用者が好き勝手に調子に乗るなど言いたい。海で安心して遊べること自体を有り難いことだと再認識してもらい、そういった事案をなくしていきたい。
- 毎年言っているが、違反者の身分が明らかになっていないのが悪い。退場勧告するときには身分証を提示してもらうべき。こちらの身分証などは違反者に撮られている。一回退場処分にしたら出入り禁止にするなどの対応をしないといけない。同じグループにどれだけの税金が使われているのか。特定のグループのために警備員がいるみたいになっている。

- 身分証の提示について、警察官も警察法などの法的根拠に基づいて、基本的には任意で求めている。市民が行うとなると、さらに法的根拠もなく、お願いするレベルになる。条例などで「市職員が身分証の提示を求めることができる」といった文言があればできる可能性はあるが、あくまで任意の協力になると思われる。市民と市職員（公務員）でもまた違ってくると思う。
- 警備員や職員が時間を取られているのは見ている。退場勧告になったら厳しく取り締まる取り組みを検討するといった記載をお願いしたい。
- 市の報告書は全体的に良かったという報告だったが、現実としてこれで良いのかという意見も多い。排除して、とあからさまに書いて良いのでは、というのが私の意見。
- 直接海で関係していることはないが、18 時からのパトロールに同行した際に浜で飲み食いしている人が多かったと感じた。逗子に住んで70年になるが、コンビニなどで買った酒をバックに入れて隠す人もいて、皆さんのイメージと同じ印象を抱いている。市民として、今後海岸をいかに良くしていくかを考えていかないといけないと感じた。
- 退場勧告よりも前の飲酒行為、持ち込み行為を抑制することが大切である。浜で飲酒するような人たちが来たくないようなビーチにしてはどうか。酒を持ち込ませないことを徹底する方法を考えて、公へのアピールをもっとして、外国人にも伝えられるようにすればよいのではないか。今のままでは無駄が多く、入り口に警備を配置したほうがお金がかからないのではないか。浜でのアピールもそこら中に飲酒禁止の旗を立てるなど、周りで気付いた人が注意しやすい環境にしてほしい。警備員だけでなく皆で注意周知する方法で発信してほしい。
- 入り口で食い止めることを記載してほしい。手詰まり感があるので新しい方法を考える必要がある。
- これまでは酒については飲んでダメと注意してきており、現在はそこから一歩進んで表に出して開封している酒を捨てさせるところまで対応をしていると思うが、その時だけクーラーボックスの中にしまえば警備員もそれ以上注意できない。コンビニに張り紙等の啓発をお願いしても持ち込みはできるため、コンビニも注意がしづらい。持ち込み禁止というさらに一歩踏み出した対応にするべき。アピール呼びかけの方法として、浜に来た時点で捨てさせるなどが良い。
- 入口で捨ててもらうのが良い。持ち込ませない方法は考えるとしても持ち込みは禁止にするべき。
- お酒に関しては飲む時間を決めたほうが良いのではないか。結局事件にはお酒が絡む。ボトルに入れ替えると分からないため、徹底したルールを運用していくことも考えていくべきではないか。海とは何をするとおこなうのかを考え直すべきである。昔は海の家に射的場などもあって、子どもが楽しめた。今は大人がお酒を飲む場所になっており、海水浴場に子どもたちを連れていきたいと思えない。子どもが遊ぶところが少ない。昼間は子どもが安心して遊べる海に変えていく必要がある。

- 入れ墨の人がものすごく増えているのに、飲酒だけ注意して入れ墨の注意はしていない。逗子海水浴場の客層が悪くなっている。
- タトゥーに関しては、時代的に抑えるのは難しいのではないかなとも思う。今後認めていくのか、取り締まりできないのなら別の方法を検討するということも含め考えていくべき。

### (3) 条例等ルールを理解できない外国人への対応

- 常に迷惑をかけている特定の外国人グループに対処できない限りは、良くなったと言えないのではないかな。注意されても警備員がいなくなったら音楽・飲酒をしている。彼らがいるせいで他の人もいいのではないかなと思ってルールを破っている。
- 特定の外国人の違反は周知の事実で、誰が悪いか分かっている。退場になっても次の週にはいつも通り来て違反を繰り返している。例えば海の家イエローカードのように、一度退場勧告された者に対しては、厳しいペナルティを設けて、来させない仕組みも良いのではないかな。
- 外国人が増え、それに伴う事件が増えたというのも事実。ベトナム人による盗撮事件や、暴行事件、米軍の女性の泥酔や外国人同士の小競り合いなどの外国人の起こす事件が増えていると感じているので何とかしてほしい。警察の対応を強化してほしい。暴行事件を逮捕できないのはおかしい。また、特定の外国人グループによるマナー違反がエスカレートしているため、身分証の提示等すべき。
- 外国人はパスポートを携行しなければならない、警察は何時でも身分証の提示を求められることができると聞いたが。
- 警察は公安職であるため、職務的に見て犯罪の危険性があると思われる時でないと身分証の提示を求められない。不審点があるなど状況に応じた判断になる。
- やらうと思えばできるということはわかった。法律や条例で定める必要があるということも分かった。そこは市にやってもらえない。
- 現実問題として外国人だからと区別をしてはいけない。同じ土俵で考えるべき。違反した日本人はマイナンバーカードを見せるのかということになる。アルコール検査などで飲酒が判明したら迷惑行為として名前を控えるなどの対応をとっても良いのではないかな。正しいモラルを持ってもらう取り組みを考えてほしい。
- 特定の属性で人を排除したくない。犯罪やルール違反をしない外国人まで排除したいわけではない。
- 検討会に参加していない人にも伝わるように分かりやすい意見にすべき。差別的表現が良くないことは承知の上だが、意見をはっきり分かりやすく伝えるために排除すべきと言っている。
- 出て行ってほしい人には出て行っていただくとしても、福祉や行政の観点から偏って見えないように、あえて排除しないという意見も入れてほしい。

- 外国人が怖いとの声が多数あった。
- 砂浜では外国人の悪いイメージが多く、状況はよくなかった。
- 外国人が心配だった。今年も相変わらずだった。
- 開設直後は暴行事件や退場勧告で外国人がクローズアップされたが、結果的に退場勧告の件数は昨年よりも減った。砂浜での飲酒は多かった。午前中から 15 時くらいまでは良いが、それ以降は外国人が来て夜までずっといるようなイメージだった。今年が特に悪かったというよりは例年と同じような状況だったかなと感じているが、事件の印象が大きかった。対策の手詰まり感はあるので新たな取り組みは必要と感じているが、現在も海水浴場条例に定めているぎりぎりのところまでやっている。そこから条例の解釈に幅を持たせて、酒の持ち込みまで触れるかどうか。日本人は徐々にルールが浸透しているイメージであり、外国人は良い人もいるが、ルールを守らない人が悪目立ちしている。ルールを守らない人のために全体のイメージを崩すのはさみしいので、特定の人への対処を特化できるように考えたい。

#### (4) ごみ対策

- ごみの対応がありがたかった。
- 海岸中央でやっているごみゼロナビゲーションのボランティアの人たちはがんばっている。
- ごみゼロナビゲーションは良かった。ボランティアからモチベーションや動機、意見も聞いてみたい。
- ごみ処理の有料化については、募金や寄付等でお金を集める仕組みを継続して検討していただきたい。
- 個人的ではあるが、自分の店（街中）の前のごみの問題はひどい。どうしてこういったごみを捨てていくのかと思う。明らかに逗子市民ではない人のごみが捨てられている。南米系の人たちの文化なのか、酒瓶を割った状態で捨てていて、特に土曜の晩や翌朝は驚く。花火のごみはだいぶ少なくなったが、外国人が空き缶などのごみをクーラーボックスごと捨てていくこともあった。海岸組合の人たちが夜見回りをしてくれて減ってはいると思うが、週末はごみが多い。

#### (5) 喫煙対策

- 砂浜で吸える場所がなかったことで、路上で吸う人が増えて、たばこのポイ捨てが散見された。所定の喫煙所は設ける必要があるのではないかな。
- 紙巻きたばこと加熱式たばこで分類してしまうと、決まった場所で隠れて紙巻きたばこを吸う人がいる。分類しない方が良く、やめるならどちらもやめるべき。最近ではフィルターに金属が入っているものもあり、環境に非常に悪い。

- たばこの吸い殻も非常に多い。吸えるところがないからか、海水浴場外で吸ってそのまま捨てていってしまう。風などが吹いたら、火事の危険もあって危ない。
- たばこのポイ捨てが多くなることも考慮し、煙のないビーチに逆行するかもしれないが、喫煙所を設けることも検討すべき。
- たばこを吸う人はどこに行ってもまず吸える場所を確認するため、所定の場所があればそこで吸うと思う。一人がたばこを吸ってポイ捨てすると、他の人も同じ場所に捨ててしまう。
- タバコのポイ捨てについては増えるようなら喫煙所は設けてもよいのではないか。

## (6) 防犯カメラの設置

- 防犯カメラも抑止力となった。(再掲)
- 監視カメラは試行的な取り組みということだが、効果はあったのではないか。カメラの台数については別の視点で検証してもらえればと思う。
- 監視カメラは増やしても良いのではないか。

## 2. 海の家に関する内容

### (1) 全般

#### <意見>

- 今年の営業の成果はどうだったか。
- 市の報告書の説明の中で、コロナで来場者が減っているという説明があったが、海の家の人からは単純に海に来る人が少なくなっていると聞いた。このような状況下で組合の経営は成り立つのかを聞いてみたい。
- 全般的に厳しかった。コロナの影響があったと思う。平日は特に人が少なく、土日はそこそこ来たがそれでも少ない。自分の店もコロナ前の3分の2くらいだった。極端に多い日があったわけでもない。ウォーターパークがあるからなのか、東と西で差が出てきているかもしれない。
- 赤字の海の家も結構あったと思う。平日は皆さんが思っているよりお客さんが来なかった。土日もそこまで多くなかった。すごく良いわけではないが、すごく悪いわけではない。コロナが原因になっていると思う。
- すごく悪くもないけど良くもない。天気割には良くなかったが、天気のおかげで良かった。長くやっている店はなんとかやっていた一方で、年数が若い店は苦戦していた。
- ずっとやっているところはお客さんをつかんでいるんだなと思った。
- 毎年数回来る人が一回も来なかったということもあった。
- 小規模な海の家がたくさんあるのが逗子の特徴。いくつかの店をまとめて規模が大きくなれば経営も楽になると思う。もっと規模を大きくして、市民にとってより良い海水浴場になってほしい。

- 昔は海の家に射的場などもあって、子どもが楽しめた。今は大人がお酒を飲む場所になっており、海水浴場に子どもたちを連れていきたいと思えない。(再掲)
- これまでも言ってきたが、海の家について、17 時以降の商店街営業を本格的に検討してほしい。17 時までには海水浴を楽しむ場として、お酒を飲む場所ではないということを前面に出し、17 時以降は街中の店舗同様、服を着て客に楽しんでもらうことをルールにしてほしい。海の家＝商店街というイメージ作りに努めてほしい。あとは、どこの海の家がより良い営業をしているのかコンテストのようなものを行ってほしい。
- 海を家の二階テラス部分についてはなくしてほしい。せめて、よしずなどで目隠し等の対策をしてほしい。
- 海を家の二階部分についての記載をしていただいたのはありがたいが、厳密には二階建ては認められておらず、屋上として認められているはずなので、語句を修正した方が良いのではないか。
- 正式には「二階テラス」として認められているので、「二階テラス部分」と修正してほしい。
- 県土木と調整したうえで表記についての修正をお願いしたい。
- 組合員は検討会の報告書ができれば、全体で目を通す機会はあるのか。
- オープン前に各店舗にルールについては説明している。
- ルールをその都度聞かれるからコピーを渡すこともあり、オーナーに従業員も把握しているか確認させてほしい。
- 全店舗に渡しているが、海の家を常に置いておくよう組合内で共有する。

## (2) 海を家の営業時間

### <実施状況>

- ・閉店時間を全日 20 時 00 分とした。ただし、市長が条例、規則及びルールを遵守していないと認める海の家については、18 時 30 分までとした。

### <意見>

- 営業時間については、20 時までの営業に海の家が慣れてきてはいるが、本音は 21 時までやりたい。21 時閉店としておいて、コロナの状況に応じてやっぱり 20 時にしようということも受け入れられる。20 時までで数年きているので、いきなり全日 21 時までではできないとも思うので、お試しのような形で土日だけ 21 時までなどでやりたい。
- 日没とお客さんの入りの関係はどうか。
- 夕涼みに来る人もいるのでそこまで変わらない。
- 閉店時間については、自治会で行ったアンケートの結果から判断しても 20 時より早くしてほしいという意見も多い。そのため、報告に早くしてほしいとの文章も入れてほしいと思っている。

- 「新宿自治会は早くしてほしい、他のメンバーからは 22 時まででも良いとの意見があった」というような書き方にすれば良いのではないか。例えば、合同パトロールは 19 時過ぎに終了するが、その後に海の家でお疲れ様会をやろうとしても時間的にできない。合同パトロールを早く始めてくれとも言っている。「短くしてほしい、長くしてほしい」という意見をどちらも書いて、最終的な判断は市長にしてもらえば良いのではないか。
- 立場によって、様々な意見があったということを記載してもらいたい。

### (3) 海の家音楽・イベント

#### <実施状況>

- ・今年度も海の家音楽について、音楽イベントを原則禁止とした上で、出力をしばった重低音を発生させない機器を市と海岸組合が指定した位置・向きで海の家に設置する条件で BGM を流すことを許可した。
- ・結婚パーティーでの音楽及びマイクの使用については、海岸組合を経由して市が許可することで認めた。なお、今年度は 8 月 27 日の計 1 回結婚パーティーが実施された。

#### <意見>

- 海の家音や閉店チェックについて、新宿自治会でもチェックしている。今年は 7・8 月に計 6 回、134 号線の道路上からチェックした。BGM による問題はほぼ管理されていたと思う。
- ヴィヴィアナ (海の家) の音量がいつも大きい。基準値内かもしれないが他が静かな時にまで大きな音を流すのはやめてほしい。また、シーマジック (海の家) の中で楽器の演奏もあったと聞いている。
- なぜヴィヴィアナの BGM はいつでも混雑時と同じほど大きいのか。平日の周りの海の家が静かな時でも音楽をかけている。お客さんがいるわけじゃないからやめたほうがいい。
- 音量については、基準値内であれば自由で良いのではないか。静かな家と盛り上がっている家が共生していることが活性化になるのではないか。ルールの中でクリエイティブなことをやっているところを潰すことになってしまう。
- 現場で聞くとうるさいのが分かる。ルール内であれば自主性に任せるということならば BGM は一律なくても良いとも考えている。
- 新宿自治会としては、国道 134 号で明確に聞こえてこない音量に管理されているのでありがたいと思っており、これを継続してもらいたい。また、組合としてのパトロールもありがたいので、継続してもらいたい。報告書の書き方としてはこのままで良いのではないか。
- 「対応を求められる」というと強制力があるため「配慮すべきとの意見もあった」というような表現に変えるのはどうか。

- 「対応が求められる」の記載は残してほしい。
- BGMについては、基準値内であってもうるさければ、次の段階として、基準値そのものの見直しという段階もあると思う。
- 「対応が求められる」という文案のままが良いのではないか。自治会としても毎日チェックができていないわけではないため、こういった表記も残してもらいたいと思う。

#### (4) チェックリスト・イエローカード

##### <実施状況>

- ・平成28年度から導入したチェックリスト・イエローカード方式を継続して実施した。
- ・チェックリストには、「出店者証」「従業員の入れ墨・タトゥーの露出」「音楽」「利用者の酒の持ち出し」「閉店時間」「その他」の6項目が記載されている。
- ・各項目の行為を確認した場合、市職員、マナーアップ警備員もしくはマナーアップ警備員のパトロールに同行している腕章を付けた任意の検討会メンバーが、速やかに是正するように注意・指摘したうえで、注意書(イエローカード)を1枚発行し、累積枚数により処分を行うこととした結果、今年度もイエローカードの発行はなかった。

##### <意見>

- 現在の仕組み継続で異論なし。
- 海の家としては、全面的に今年は落ち着いて対応できたのではないかと感じている。組合内の統制が取れてきており、昨年の営業停止も辞さないという姿勢が伝わっていると思う。
- 組合内部の統制はうまくいっていたと感じている。ルールが従業員みなさんにも少しずつ浸透しているように感じたので、来年度につながっていくのではないかと。

#### (5) 海岸組合によるマナーアップ警備員のパトロールへの同行・街中パトロール

##### <実施状況>

- ・組合は、海水浴場及び近隣の人家付近のパトロールを行い、生活環境に支障が生じないように、音量チェック等の対応を徹底することとした。
- ・組合と市が現状・目的を共有し、個々の海の家が条例等ルールへの理解を深め遵守するために、マナーアップ警備員が実施する巡回(14時・18時)に従業員が同行することとしたが、同行回数については状況に応じて組合と市で協議した上で変更可能とした。なお、18時の巡回には、市民が同行できるものとした。

##### <意見>

- 浜だけではなく、夜にも街中をパトロールしていただいている。それで安心できるということが海水浴場の風紀の項目にも書いている。お店にスタッフが減るのは大変だと思うが、地域としてはありがたいと思っている。

- 組合員による街中のパトロールは彼らの顔なじみの海水浴客にも効果があるのでありがたかった。
- 組合員の方も清掃しながらパトロールしてくれた。引き続き、皆様のご協力をお願いしたい。

## (6) 感染症対策

### <実施状況>

- ・ 飲食店、更衣休憩所、レンタル店・物販店の業態ごとにルールを定め、「神奈川県感染防止対策取組書」の活用や身体的距離を確保した設備・機材の配置、従業員及び来客等のマスク等着用・手指消毒・体調チェック等を義務付けた。
- ・ なお、感染症のまん延状況に応じた対応については、事前に検討会において検討・協議した内容を踏まえて市と海岸組合が覚書を締結し、状況に応じた対応ができるよう調整を行った。

### <意見>

- 今年度の継続を基本とし、状況に応じた対応をしていくことで異論なし。

## 3. 来年度海水浴場開設に向けて

### (1) 開設の可否

#### <実施状況>

検討会での協議を経て作成したルールに則り市が決定した。

#### <意見>

- 3年ぶりに66日間開設することができたことは大きいと思う。
- 全体的には久しぶりに開設できたし、逗子海水浴場が復活してよかったという良い声も聞けて良かった。
- 来年度も開設していただきたい。
- 今年度同様、コロナの状況によって対応をどうするかを事前に想定していただく形で取り組んでいただきたい。

### (2) 開設の期間

#### <実施状況>

- ・ 7月1日（金）から9月4日（日）までの66日間とし、新型コロナウイルス感染症のまん延状況等によっては、県からの要請等に応じた対応または市独自対応の検討・協議をすることとした。

#### <意見>

- 海岸組合としては、日曜日が最終日が良く、来年度も同じが良い。暦の関係で現行の9月上旬までの日程になっているだけで、8月31日が日曜日なら、そこまででも良いと思っている。

#### 4. 振興策の提案

##### <意見>

- 振興策をやらなくても今でも十分みんな楽しんでいるから、検討会としては、ルールを守ってもらう取り組みを考えていくべきなのではないか。来た人に気持ち良く過ごしてもらい、守らない人のせいで嫌な思いをしないようにすべき。リピーターも多いと思う。
- 今いる、来ている人たちを大切に、良い思い出を持ち帰ってもらいたい。
- ワッシュイブずしかいがんのイベントについて、市民が参加しているのは良いが、一人当たりのコスト換算を出してほしい。
- ワッシュイブのイベントについては、天候にも恵まれて全企画実施できて、全体的に良かった。
- 子ども向けイベントについて、ファミリービーチとなるためのきっかけづくりとなっている。抽選倍率も高く、市内の子どもたちがウォーターパークのビーチクリーンに800人近く来てくれたという良い面も見られて良かったなど思っている。
- 遊泳者の中では事故などはなかった。ファミリービーチを目指してライフジャケットを130着用意したところ、お盆の間に二日間全て貸し出すほど好評だった。サイズによっては不足もあったが、始めて10年で子連れやファミリーに定着した。
- ブルーフラッグについて、見事に取得出来てシンポジウムもできてよかったと思うが、それらの効果や結果などの検証はするべきではないか。無関心の市民にも知ってもらうための取り組みを行い、フィードバックと市民からの意見をもらうなどをしてほしい。
- ロールタオルや固形石鹸は時代にそぐわないため、来年はやめていいのでは。
- ブルーフラッグについては、一年を通じて海岸組合が逗子海岸のことを考えて行動してくれていることはありがたい。
- 内容的なアピールがもっとほしい。逗子がブルーフラッグの中で特化していることのアピールとかもあればそのアピールがあると良い。今年はこれ、来年はこれ、というようなアピールを続けて、イメージづくりをしていくべき。
- 海岸に掲げていたブルーフラッグは、遊泳の青旗と誤認されていると思う。
- 今年はブルーフラッグをまず見てもらうのが一番だったと思うが、来年度以降は逗子らしいアピールをしていくと良いと思った。まちを巻き込んだ取り組みができていくと良いと思う。
- サプライズ花火には賛否あったが、昔を思い出して嬉しかった。
- ナイトウェーブとかは毎週できないのか。

- それで難しいのであれば、大きいものではなくても花火を毎週してほしい。サプライズ花火は良かったため、是非やってほしい。
- 募金やふるさと納税みたいなもので花火をできないのか。
- そうなるとシークレットではなくなる。
- シークレットも良いが、びっくりしてしまう。
- シークレットじゃないと、警備をつけないといけないなどの対応の難しさもある。
- シークレットとはいっても知っている人は知っていて、普段人がいない時間にも人がいっぱいいた。シークレットにこだわらなくてもよいのではないか。花火はやってほしい。
- 葉山の海岸は良い例で、無料の音楽イベントもやっている。逗子は有料化などの対策で根本的な変化をしないといけないのではないか。
- 海の家は客層が悪くなっている。このままではどんどんルールが厳しくなって疲弊し、衰退していくと思う。提案しているのは全体の有料化。市外の人を有料化して、営業時間を延ばし、うるさくない範囲で音楽を許可する等、規制を緩和しながら活性化していく。
- 入れ墨を含めて、客層が悪くなっているのは全員の見解であり、暴力沙汰もある。これをどうしていくのかの解決策を提案する必要がある。有料化すれば海水浴場内が活性化する。振興策は老人がここで考えるものではなく、市がやってほしいことをやってくれる店には補助金を出すなど、やりたい人を誘致すべきだと思う。
- そもそも海岸法等の関係で有料化はできるのか。
- 海水浴場を何のために開くのか、誰でも出入りできる公共の海岸を活用しているものなど、様々な課題はあるが、法的にできるかどうかという点で有料化はできる。
- 海岸の一部分を有料化することは、今も海岸映画祭などでやっている。できることはできるが、一部分だけ有料化するとお金を払わない人たちは端へ追いやられ、現在すみ分けできているマリンスポーツのエリアと海水浴客が混ざってしまい、秩序が保てなくなるなどの懸念もある。そういった課題についても考える必要が出てくる。また、受益者負担の考え方からすると、市民だけを無料にすることは難しい。
- 有料化したら誰がお金の管理をするのか。入口は一つにして他は封鎖するのか。プランを持って有料化と言っていると思うため、それを聞きたい。
- 都内の河川敷のバーベキュー場は有料化したら治安が良くなった。抜け道を探す人もいなくなるだろうが、一つの解決策として有料化を提案している。非常にPRになり、市外から人が来なくなる。市民とお金を払ってでも来たい市外の人たちが来るようになり、客層が良くなる。
- 有料化と言いつつも課題が山積みのため、現状では提案というより妄想に近いと感じる。ただ、客層を良くすることをゴールとするならば一つの選択肢になる。例えば、有料化だけでなく海水浴場そのものを無くすということもあると思う。このような大きな

- 話はここで決めることではなく、一年通しての議論等が必要になると思う。
- 有料化すると本当に客層が良くなるのか。ファミリービーチと言っているながら、家族連れは無料の海水浴場に行くのではないか。お金さえ払えば自分の思うようになる海岸と思われたら、そういう大人ばかり集まって客層が悪くなるのではないか。
  - 有料化はあくまでも手段であり、逗子海水浴場のルールを守れない人をブロックすることが目的である。
  - 有料にしたら「お客様は神様」になってしまうことも考えられる。色々な課題がある。
  - 客層を良くするためにはどうしたら良いかについての議論の場を設けてはどうか。
  - 毎回言っているが、海水浴場は17時まで、17時以降は洋服を着て海の家のお客さんとして楽しむというルールが良いと思う。それである程度客層がクリアになっていくと思う。
  - 有料化は管理を強化することが目的である。ここから先は管理しているところであることをはっきりさせる。
  - そういった対策も考える必要があるという記載が、意見部分にはあるが報告部分にないのはどうか。こういった意見があるということを報告に載せるのであれば「客層を良くするための手段として、有料化や時間についての意見があったが、慎重な十分な審議が求められる。」というような、検討の余地を残すということでもいいか。
  - どういう人たちに来てほしいのかという議論がなされていない。そういう人たちを呼ぶ環境を作らないと外枠だけ固めても堂々巡りになってしまう。ファミリービーチとは何なのか。誰にとってなのか。家族連れか、若者か、お年寄りも含めて全部かというところをはっきりさせるべきではないか。今の海の家は外国の人が多く来ることで、客層が変わってきている。賑やかな感じで酒もいっぱい出たら、外国人も来る。昔はそうでなかったからファミリービーチだったと思う。毎年同じことをやって小さいものを潰しても、結局元に戻ってしまう。違う観点から議論していった方が良いのではないか。例えばお酒の提供も、大人をターゲットとするビーチなのであれば賛成するが、そこを目指さないのであれば止めれば良い。両立させようとするから難しいのであって、もっと単純で簡単な話だと思っている。時間で分けるのも良いとも思っている。客層が分かれるから良くなるのかなとも思う。17時までにはお酒を提供せずに、夜は提供するとか。
  - 今の客層は今言ってもらったような感じだと思う。ターゲットをどこに絞るのか。ファミリービーチとはどこを指すのかというのを改めて議論が必要になると思う。どこの方向に向かうのかは、皆で同じ方向を向いた方が良いため、市として改めて働きかけていくのか、検討会の意見を踏まえて明らかにするのか、市には考えてもらいたい。
  - 時間を取って議論が必要なのではないか。
  - 市外の家族は有料になるのか。それでは、ファミリービーチではないのではないか。
  - 家族なら市外でも無料で良い。お金稼ぎが目的ではなく、ゲートで管理することが目的である。

- どうしたら悪い人がいなくなると思うか。
- 実際にそういう人を見ていないため、分からない。
- 実感としてはそこまで悪くはなかったと思っている。
- 実際は悪くなっている。
- 客層の変化については、人それぞれで、いつと比べて、かつ、何をもって客層が悪くなったのかなどを整理する必要があると思う。
- みんなが感覚で意見を言っている部分もあるため、市の方でできるだけデータを取ってほしい。それが良いのか悪いかの指標になる。これはパブリックデータに近いものであるため、市でやってほしい。
- 何年か前にやっていた位置情報を利用した取り組みをまたやれば良いのではないか。どこから来たかがそれによって分かる。